

原子力災害による被災者支援施策パッケージ 概要

ポイント

- 原子力災害により、健康不安やそれに伴う生活上の負担が生じており、支援を行うことが必要。
- さらに、子どもの元気を復活させる先進的取組を実施することが重要。
- 上記をあわせて以下の施策パッケージをとりまとめ。

1 子どもの元気復活 ～子どもの元気を復活させる先進的な取組～

- ・全天候型運動施設等の整備により福島県の子どもの運動機会を確保
- ・福島県及び県外において自然体験活動を実施

2 子どもの健康・心のケア

～健康不安に対して、安心を確保する取組～

- ・福島県民を対象とした健康管理調査の実施
- ・福島県での健康管理調査や福島県外の甲状腺検査結果を活用し、福島県内外でリスクコミュニケーションを強化
- ・原発被災者に対する健康管理に係る今後の支援の在り方を検討
- ・子どもの食の安心・安全を確保するため、学校給食等の検査を実施
- ・専門家等の訪問・相談を通じた被災者の心のケア

3 子育て・生活環境の改善

～健康不安に伴い生じた生活上の負担への支援～

- ・母子避難者等に対し、新たに高速無料措置
- ・福島県中通り等において公的な賃貸住宅を整備、借上げ仮設住宅を引き続き提供
- ・経済的な理由により就学が困難な子どもへの就学支援
- ・雇用機会の確保、福島県からの避難者に対する帰還就職の支援
- ・被災地の医師・看護師等の確保
- ・生活習慣病対策

4 その他 ～支援を行う団体への支援等～

- ・行政では手が届きにくいきめ細やかな支援を行うため、NPO等の民間団体等を通じた支援を実施

○より効果的かつ効率的な施策推進に向け、フォローアップを実施するとともに、専門的知見を活用しつつ、パッケージの拡充に向けて引き続き検討を進める。

原子力災害による被災者支援施策パッケージ 主な取組の例

1 子どもの元気復活 ～子どもの元気を復活させる先進的な取組～

子どもの元気復活

「子ども元気復活交付金」により、全天候型の運動施設などを新たに整備するほか、「安心こども基金」により大型遊具などを設置し、運動不足になりがちな福島県の子どもの運動できる機会を確保します。



自然体験活動

子どもが屋外でのびのびと活動できるよう、福島県での「ふくしまっ子体験活動応援事業」や、福島県内外での「リフレッシュ・キャンプ」等の取組を通じ、被災地の子どもの自然体験活動を応援していきます。



2 子どもの健康・心のケア ～健康不安に対して、安心を確保する取組～

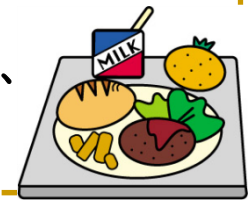
健康管理・健康不安対策

福島県民を対象とした外部被ばく線量調査や18歳以下の甲状腺検査等を実施します。さらに、福島県での健康管理調査や福島県外の甲状腺検査結果を活用し、福島県内外でリスクコミュニケーションの強化等を行います。



学校給食の放射性物質検査

学校給食において、食材は出荷段階での検査が行われていることを前提としつつ、より一層の安全・安心を確保するため、放射性物質の検査を実施し、その結果をしっかりと公表していきます。



3 子育て・生活環境の改善 ～健康不安に伴い生じた生活上の負担への支援～

母子避難者等の高速道路無料措置

福島県中通り・浜通り、宮城県丸森町から避難されている母子・父子避難者の方を対象に、避難先と避難元のそれぞれの最寄りインターチェンジ間の高速道路料金を無料にします。



借上住宅の期間延長

本年3月末までとされている借上住宅（民間賃貸住宅等を活用した応急仮設住宅）の供与期間を、全国で平成26年3月末まで延長するほか、さらなる延長に向けた検討も行います。

